



セイヨウハシバミ(西洋榛)

<カバノキ科・ハシバミ属>

ヨーロッパ原産の落葉低木。果実は「ヘーゼルナッツ」。日本では稀に植栽される。葉は、互生し長さ5~12 cm、幅4~12 cmの卵形~広楕円形で、重鋸歯を持つ。雌雄同株しゆうどうしゆで早春、葉の展開に先立ち、同じ木に雄花と雌花が別々に付く。雌花は芽鱗に包まれたまま開花するので、赤い柱頭だけが外にのび出て目立つ。雄花は長さ3~7 釐、柄はなく、前年枝から尾状に垂れ下がる。果実は秋にかけて熟し、ドングリの様に自然落下する。日本には近縁種きんえんしゆのハシバミ、ツノハシバミが自生し、共に食用となる。・・・▼友人から「花が咲いたので描いてみる？」と示されたのはセイヨウハシバミ。炎が揺らいでいるような真っ赤な雌花が実に愛おしい。▼何日かすると葉が開いてきた。木々の葉は、芽吹いた時から姿を変えずそのままの形で大きくなる。▼今、自然界は春の息吹で満ち満ちる。遠いウクライナの戦禍の下にも来たれ春。祈る平和！~2020年3月湯来町にて~